

ドリーム通信

2017年
3月24日発行
第82号

山形県スポーツalent
発掘事業実行委員会

自分に合った種目を探したU-12の取り組み

ドリームキッズU-12（小学生段階）は、普通の小学生ではなかなか体験することのできない競技をたくさん体験し、どんな競技が自分に合っているのかを探る段階になります。さらにキャンプを通して、世界で活躍するアスリートになるために必要な知識や考え方を学んでいきます。

1 キッズキャンプ

キャンプ毎にテーマを設け、運動能力と知的能力の育成を図りました。リオ五輪に出場したウエイトリフティングの八木選手や本県出身のオリンピックである陸上競技の安孫子選手によるプログラム等でキッズたちは刺激を受けていたようです。また毎回行われている栄養プログラムにより、足りない栄養を補うオーダーや相談を親としているキッズも増えています。ホームプログラムや練習ノートなど継続する力も高めています。さらに保護者に対して栄養やリカバリー、シューズ選び等のプログラムを開催し、キッズをがっちりサポートしていただいています。

第1回『Team』 第2回『知る』 第3回『記録・管理』
第4回『セットする』 第5回『Step up』



2 高評価者プログラム

今年度より新たな取り組みとして、キャンプで国や県競技団体の指導者から良い評価をも

らったキッズに、さらに専門的な体験の場を提供しました。1度の体験で終わるのでなく、何度か体験を重ねることで本当に自分に合っているかを検証しました。

3 現地集合型キャンプ

体育館で行う競技の他に、水上や雪上などでの競技体験にも挑戦しました。



4 今年度1年で体験できた種目は18競技

キャンプやトライアウトを通して今年度1年間で18種目を体験する場を提供しました。種目によっては地域性もあるため全18種目を体験したキッズはいませんが、少なくとも10競技以上は体験し、評価をもらっています。まだ成長期前で、身長や体形が変化していくため、評価や成長をじっくりと分析しながら、自分に合った競技、中学校で挑戦してみたいと思う競技の絞り込みをしていきます。

フェンシング	ライフル射撃	ウエイトリフティング	テコンドー
ボクシング	カヌー	アーチェリー	水球
ボート	ホッケー	ラグビーフットボール	自転車
サッカー	バレーボール	バスケットボール	スキー
ピストル射撃	陸上競技		全18種目

FUTURE IS YOURS !

オリンピック種目のうち部活動で行われている競技は中学で約3割、高校でも4割程度になります。半数以上の競技が普通は体験することはありません。全国の小学生の年間競技体験数は3~4つであることを考えるとドリームキッズの活動は本当に貴重な体験の場となります。その中で一人ひとりが感じ、考えたことが自分の将来の扉を開きます。どの扉をノックし飛び込んでいくかは本人次第。才能を高く評価され選ばれたキッズ達ですが、これからの戦い、努力の方が比較できないほど厳しく険しい道であることは確かです。トータルコーディネートしてくださっている仙台大学の栗木先生は「目的のない船に順風は存在しない。しっかりと目標を設定し、達成するために何をすべきか考え実行し、定期的に自己分析をしながら、すべきことを改善していく、これに尽きる。」と教えてくださいました。また、成功の反対は失敗ではなく挑戦しないことだ。」と本県出身のオリンピックである県ウエイトリフティング協会の齋藤先生に教えていただきました。志あるところに道は開ける。多くの競技種目での経験やオリンピックや中央競技団体の指導者に学んだキッズが、これからどう成長するかご期待ください。



—問い合わせ先—
山形県スポーツalent発掘事業実行委員会事務局
990-2412 山形市松山二丁目11番30号
TEL:023-615-6415 FAX:023-615-7933
ホームページ: <http://y-dreamkids.jp/>